



理学部数学科における女性枠入学者選抜の実施について

概要
理学部数学科では、優秀な女子学生の獲得に向けた取組として、平成24年度入試から一般入試の後期日程に募集人員の一部を女性枠に設定した入学者選抜を実施します。

I 趣旨

従来、数学分野の唯一の研究職は大学教員と考えられていましたが、企業においても一線の研究をすることができる優秀な女性の人材を育成しなければ、数学分野のみならず社会にとっても損失が大きいという認識のもと、キャンディデートの発掘・開拓のために、当女性枠選抜を実施するものです。

わが国における数学分野の女性研究者が少ない状況は、他大学、企業等の研究者をみても同様であり、その低さにおいては、国際的にも際立っています。本学においても、数学分野の教育・研究を担う数理学研究院では、国が進める男女共同参画の精神にも則り、女性ならではの視点と感性により教育・研究に多様性をもたらす女性研究者の在籍率を上げる努力をしていますが、現状では、女性教員の在職比率が3.0%と全学の他分野と比較しても低い状況にあります。

この状況を打開するために、先ず学部段階から女子の入学者を増やす方策を構築する必要があるとして、数学科の中でも、女子の入学者が最も少ない一般入試の後期日程において、これまでの男女枠の一部を振り替えて女性枠を設けることで、女子の志願者の増加を図り、国内外の大学、研究所、企業等で活躍できる優秀な女子学生の確保を目指すことにしたものです。

また、女性枠の入学者選抜においては、グローバル社会において活躍できる人材養成の観点から、語学力をみるために、現在の一般入試後期日程で課している「数学」の他に「外国語（英語）」を加えることにしました。

入学後の教育等においては、大学院進学に向けたきめ細やかな指導や特別な授業等を実施するとともに、学生生活・修学相談室を利用した修学相談やカウンセリング、ピアアドバイザー制度の充実、女子学生が安心して修学に専念できる環境の整備などの取組を計画しており、大学院修了後は、研究者として国内外の大学、研究所や企業等での活躍を期待しています。

II 実施時期

平成24年度入試から

III 募集人員

一般入試後期日程（女性枠） 5人

【理学部数学科の入学者選抜ごとの募集人員】

入学定員	一般入試		アドミッション・オフィス入試		
	前期日程	後期日程		大学入試センター試験を課すAO入試	大学入試センター試験を課さないAO入試 (21世紀プログラムを含む。)
		一般枠	女性枠		
54人	36人	4人	5人	8人	1人

Ⅲ 実施教科・科目

大学入試センター試験		一般入試（後期日程女性枠）	
国語	「国語」	数 学	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」, 「数学B」, 「数学C」
数 学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」	外国語	「英語Ⅱ・リーディング・ライティング」
理 科	「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」から1		
外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1		

【お問い合わせ】

九州大学学務部入試課長 中川原 壽

電話：092-642-2270

Mail：nyukacho@jimu.kyushu-u.ac.jp

(参考資料)

1. 女性研究者、女子学生の現状

(1) 主な研究院ごとの女性教員在職率（平成21年5月1日現在）

研究院名	女性教員在職率	女性教員数 / 総教員数	備考
医学研究院	26.5%	50 / 189	
法学研究院	18.9%	14 / 74	
歯学研究院	16.0%	12 / 75	
人間環境学研究院	14.5%	9 / 62	
芸術工学研究院	8.3%	8 / 96	
経済学研究院	6.7%	4 / 60	
薬学研究院	5.9%	3 / 51	
人文学研究院	5.8%	3 / 52	
農学研究院	5.1%	7 / 136	
数理学研究院	3.0%	2 / 66	
工学研究院	2.6%	8 / 307	
理学研究院	1.9%	3 / 154	
全学	8.7%	191 / 2,193	

(2) 学府ごとの女子学生在籍率（平成21年5月1日現在）

学府名	修士課程		博士(後期)課程		備考
	女子学生 在籍率	女子学生数 / 総学生数	女子学生 在籍率	女子学生数 / 総学生数	
比較社会文化学府	70.0%	77 / 110	53.8%	77 / 143	
医学系学府	56.0%	51 / 91	28.0%	144 / 514	専門職大学院を除く
人文学府	52.3%	45 / 86	44.9%	44 / 98	
薬学府	45.7%	63 / 138	21.8%	17 / 78	
統合新領域学府	42.9%	27 / 63	12.5%	1 / 8	
歯学府			42.3%	71 / 168	
法学府	41.1%	46 / 112	45.1%	23 / 51	専門職大学院を除く
経済学府	38.9%	35 / 90	21.2%	14 / 66	専門職大学院を除く
人間環境学府	38.5%	90 / 234	49.4%	87 / 176	専門職大学院を除く
生物資源環境科学府	37.8%	178 / 471	27.8%	57 / 205	
芸術工学府	32.1%	100 / 312	40.9%	52 / 127	
理学府	13.6%	40 / 294	21.8%	29 / 133	
工学府	7.2%	61 / 845	10.3%	40 / 387	
総合理工学府	6.5%	28 / 431	13.2%	17 / 129	
数理学府	5.1%	6 / 118	6.0%	3 / 50	
システム情報科学府	4.2%	14 / 331	6.3%	8 / 127	
合計	23.1%	861 / 3,726	27.8%	684 / 2,460	
システム生命科学府			27.6%	60 / 217	一貫制博士

(3) 学部ごとの女子学生在籍率（平成21年5月1日現在）

学部名	女子学生 在籍率	女子学生数 / 学生数	備考
教育学部	70.7%	152 / 215	
文学部	67.7%	482 / 712	
21世紀プログラム課程	66.9%	81 / 121	
薬学部	44.8%	156 / 348	
医学部	43.7%	552 / 1,264	
農学部	42.7%	425 / 996	
歯学部	41.1%	147 / 358	
法学部	40.0%	355 / 888	
芸術工学部	36.5%	322 / 883	
経済学部	26.2%	290 / 1,106	
理学部(数学科は除外)	20.8%	207 / 997	
理学部(数学科)	10.2%	26 / 254	
工学部	7.6%	273 / 3,571	
合計	29.6%	3,468 / 11,713	

2. 入学者への対応

- (1) 女性研究者を招いての特別講義等の実施
- (2) 早期から指導教員を配置し、大学院進学に向けた細やかな個別指導の実施
- (3) 履修等修学相談やカウンセリングの実施

3. 設置の利点

- (1) 女性枠を設けることで女性の入学志願者が増加し、それに伴う優秀な学生の確保が見込まれる。
- (2) 一般入試の後期日程で実施することから、前期日程で不合格となった優秀な学生の確保が見込まれる。
- (3) 女子学生の入学者が増加すれば、大学院への進学者も増加し、男女雇用機会均等法に則した女性研究者の雇用率が高くなる。

4. 数学分野における特色ある取組

- (1) 女性教員公募（平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援システム改革」プログラムによるもの）
[http://www.srp.kyushu-u.ac.jp/wrp_home/j_top.html]
- (2) 九州地区8大学女性研究者支援シンポジウム（H21.9.5 宮崎市で開催）
[http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/index_read.php?kind=&S_Category=T&S_Page=Main&S_View=&word=&page=6&B_Code=2098]
- (3) 機能数理学の構築と展開（21世紀COEプログラム H15採択）
[<http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/coe/outline/main.html>]
- (4) 博士長期インターンシップ
[http://www.mrit.kyushu-u.ac.jp/MRIT_Internship.pdf]
- (5) マス・フォア・インダストリ教育研究拠点（グローバルCOEプログラム H20採択）
[<http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/2008/2008-06-17-01-1.pdf>]
- (6) エクセレント・スチューデント・イン・サイエンス育成プロジェクト（独立行政法人科学技術振興機構「未来の科学者養成講座」からの委託事業）
[<http://www.sci.kyushu-u.ac.jp/html/mirai/>]

5. 他大学の女子を対象とした入試情報（インターネット情報による）

【例《推薦入試》】

- ・ 名古屋工業大学推薦入試
- ・ 金沢工業大学女子特別選抜
- ・ 福井工業大学女子学生特別推薦入試
- ・ 愛知工科大学自動車短期大学公募制推薦入試
- ・ 阪南大学女子学生特別入試
- ・ 倉敷芸術科学大学特別推薦入試（女子推薦）